

項目	内容
名称	アンセリン [英]Anserine [学名]-
概要	アンセリンは、 $\beta$ -アラニンと3-メチル-L-ヒスチジンより構成されるジペプチドである。イミダゾール基を有するため、イミダゾールジペプチドのひとつとされる。ラットや鶏、魚では骨格筋や脳を中心に各組織に存在するが、ヒトではほとんど見られない。なお、健康食品としては、鶏肉抽出物が使用される。
法規・制度	<b>■ 食薬区分</b> 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」にも該当しない。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 分子式 : <math>C_{10}H_{16}N_4O_3</math>、分子量240.263 (101)。</li><li>・ 食肉、魚肉中に含まれる (102)。</li></ul>
分析法	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 肉骨粉中のアンセリンをUHPLC-MS/MSで分析した報告がある (<a href="#">PMID:30634388</a>)。</li><li>・ 鶏の胸筋および大腿筋中のアンセリンをHPLCで分析した報告がある (<a href="#">PMID:24235239</a>)。</li></ul>
有効性	
ヒトの循環器・呼吸器で	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。

評価	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	<p><b>RCT</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血中尿酸が高めの男女70名（試験群35名、平均45.5±9.2歳、日本）を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、アンセリン50 mg/日を12週間摂取させたところ、平常時およびプリン体食品（5'-リボヌクレオチドニナトリウム 3.5 g含有）負荷試験240分値の血中尿酸の低下が認められた。一方、負荷試験における尿中尿酸排泄量や尿酸クリアランス、酸化ストレスマーカー（尿中8-OHdG）、疲労の自覚症状（VAS）、QOL（SF-8）に影響は認められなかった（2018265748）。</li> </ul>
	脳・神経・ 感覚器	<p><b>RCT</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な成人男性17名（平均35.5±5歳、日本）を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化プラセボ対照試験において、アンセリン飲料200 mL（アンセリン11 mg/kg）を摂取した20分後に、等尺性収縮運動を5分間、安静15分後に再度3分間行ったところ、大腿直筋の筋電図の疲労角度指標（AFI）における疲労進行が抑制された（2015030537）。</li> </ul>
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

(102) 機能性ペプチドの最新応用技術 シーエムシー出版

[\(101\) PubChem](#)

(2018265748) 応用薬理. 2018;94(3-4):37-42.

(2015030537) 日本補完代替医療学会誌. 2014;11(2):75-80.

[\(PMID:30634388\) Molecules. 2019 Jan 9;24\(2\):217](#)

[\(PMID:24235239\) Poult Sci. 2013 Dec;92\(12\):3275-82.](#)

[\(PMID:17240507\) Food Chem Toxicol. 2007 Jun;45\(6\):985-9.](#)